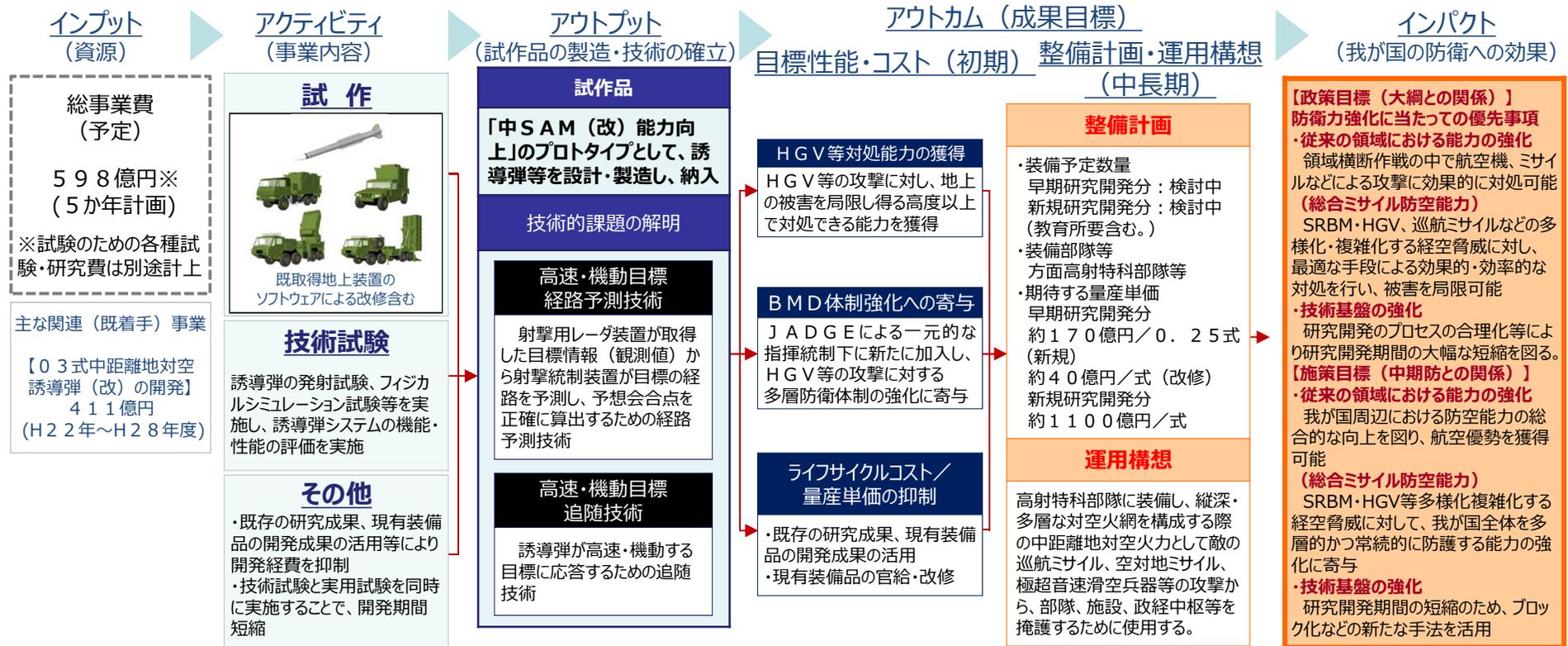


ロジックモデル (03式中距離地对空誘導弾(改善型)能力向上)

【事業の概要】高射特科部隊に装備し、極超音速滑空兵器、各種ミサイル等の経空脅威を撃墜して部隊、施設、政経中枢等を掩護するために使用する新たな装備品を、中距離地对空誘導弾(改善型)(以下「中SAM(改)」という。)をベースとして開発する。

現状・課題

我が国の周辺には、弾道ミサイル(以下「BM」という。)の保有数増加による量的優位を利用した攻撃、或いは、新型短距離弾道ミサイル(以下「新型SRBM」という。)や極超音速兵器(以下「HGV」という。)の開発によりミサイル防衛網の突破を企図していると考えられる国が存在することから、我が国を防護するために必要な能力を早期に獲得するためには、現有装備品である中SAM(改)をベースとした次期中距離地对空誘導弾の開発が必要である。



<開発実施線表>

年度	4	5	6	7	8	9	10
実施内容		← 本事業(試作) →					
			← 技術試験 →				
			← 実用試験 →				

総合評価

本事業を実施することにより、中SAM(改)の能力をさらに向上させることで我が国周辺国におけるBM等の保有数増加やHGVの開発が加速している状況に適切に対処することが可能となり、我が国の総合ミサイル防空体制の強化に資することができるため、必要性が認められる。